

全学共通科目総合系科目

2026年度 立教サービスラーニング (RSL)

立教サービスラーニング (RSL) の概要

R RIKKYO = 立教
S Service = 奉仕 (社会的活動)
L Learning = 学習

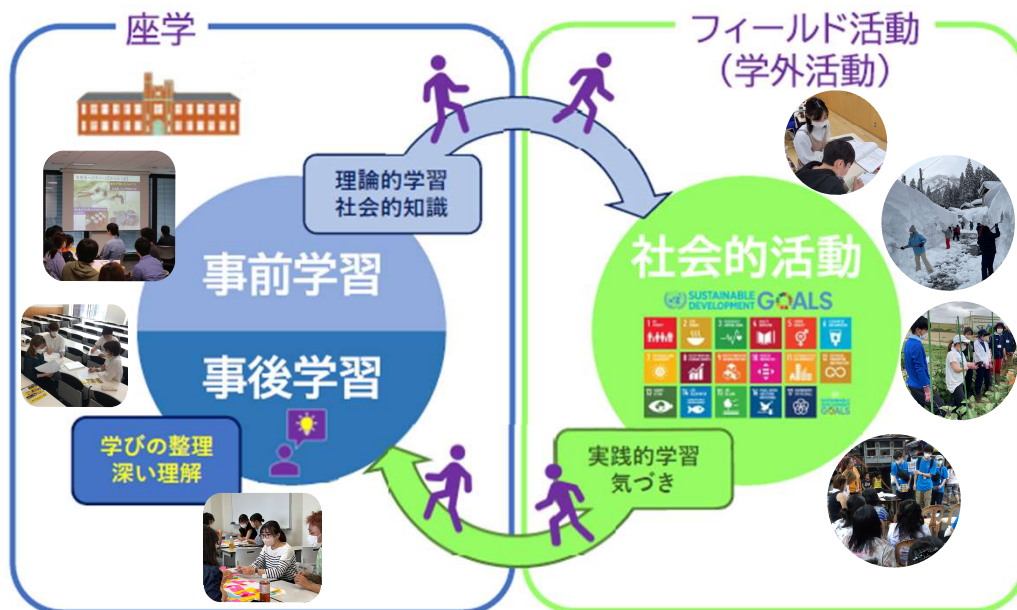
SLとは **Service Learning**とは
社会の現場での活動 (Service) と教室における学問的な
学び (Learning) を結びつけることを目指す実践型の教育
プログラムです。

サービスラーニングでは3つの学修過程を重視しています。

事前学習: 社会的課題やその背景について専門的な視点で学ぶ。

社会的活動: 学んだ知識や理論を土台に、社会の現場で様々な
人や団体と協同しながら活動し、社会課題についての
理解を深め、その解決に必要な思考を養う。

事後学習: 自分の気づきや、学びを振り返り学問的に意味づける。
その後の大学や社会での活動に活かしていく。



RSL講義系科目では様々な社会課題について多角的に学びます。
RSL実践系科目では学外活動を含むサービスラーニングの3つの学修
過程を実際に経験し、社会で必要とされる様々な力を身につけます。

春
学期

RSL講義系科目紹介

特徴

講義をもとにグループディスカッションや発表を行うほか、実際に社会の現場で活動する多彩なゲストスピーカーから講義が受けられるなど、「座学」だけでは終わらない科目群です。

大学生の学び・社会で学ぶこと



立教大学の「共に生きる」という精神は大学4年間の学びのカリキュラムと深くかかわっています。

前半5回の講義では、チャプレンや大学教職員から立教大学の建学の精神や歴史、立教大学の学びの特色、ボランティアなどの正課外教育活動について学びます。6回以降の講義では、各科目担当者の専門領域の知見を通して、「大学で学ぶこと」と「社会とつながること」の意味についてクラス全体で考えていきます。

金・3
(池袋)

福原 充 先生
(専門:教育学)

木・4
(池袋)

中川 英樹 チャプレン
(専門:キリスト教神学)

火・3
(池袋)

中沢 聖史 先生
(専門:平和学)

火・2
(新座)

中沢 聖史 先生
(専門:平和学)

RSLゼミナール ★3・4年次生推奨

「『平和』ってなんだろう?」「日本は、いま、平和?」皆さんはどのように説明できますか?

このゼミでは過去の戦争や内戦の事例から平和教育の役割や可能性について理解を深め、日本で起きている身近な出来事や世界中の課題に触れながら、平和とはなにかを多角的な視点で学びます。

金・2
(池袋)

中沢 聖史 先生

経験から学ぶ、世界とつながる

広島・長崎への原爆投下から、ビキニ環礁で行われた一連の核実験、そして近年のウクライナ危機により増大する核の脅威など、核は今日まで繰り返し国際社会を分断してきました。この授業では、「核」をひとつの事例として、世界が直面する課題に対する国や地域の異なる視点を理解し、グローバルシティズンシップについて理解を深めます。

火・2
(新座)

畠山 澄子 先生

春
学期

RSL実践系科目紹介

※RSL実践系科目は、「事前学習→学外活動(フィールドワーク)→事後学習」のすべての出席が必要となります。

3
/
26

説明会 オンライン(Zoom)開催

【RSL-ローカル(陸前高田)】11:00-12:00

【RSL-ローカル(地域共生)】14:00-15:00

※詳細は3月上旬ごろ「立教時間」にてお知らせします。

RSL-ローカル(陸前高田)

岩手大学と
合同で行う
新規開講科目

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



学外
活動

8/24(月)~28(金)に陸前高田市で
宿泊型フィールド活動を実施します。

陸前高田市の生活の変化や地域課題をともに考える

東日本大震災で壊滅的被害を受けた 陸前高田地域の方々との交流を
通して、生活の変化とそこにある課題について理解します。

集中
(池袋)

田北 康成 先生

事前
学習

6月20日(土)、
8月4日(火)3~4限

事後
学習

9月1日(火)
3~4限

RSL-ローカル(地域共生)



学外
活動

8/3(月)~8/7(金)に埼玉県熊谷市で
宿泊型のフィールド活動を実施します。



3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを

SDGsとグローカルの可能性を実践から 五感で学びWell-Beingへつなげる

埼玉県熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組むソーシャル
ファームでの農作業や、地域とかがわりながら「農から始まる暮らし」
を体験します。食・農を通して持続可能な地域・社会をつくるために必
要な視点、方法を学びます。

水・3
(池袋)

加賀崎 勝弘 先生

事前
学習

6/17(水)、6/24(水)、
7/1(水)、7/8(水)3限

事後
学習

8/26(水)
13:00~19:00

春学期								
時限	1時限 (8:50~10:30)		2時限 (10:45~12:25)		3時限 (13:25~15:05)		4時限 (15:20~17:00)	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者
月								
火			大学生の学び・ 社会で学ぶこと	中沢聖史	大学生の学び・ 社会で学ぶこと	中沢聖史		
			経験から学ぶ、 世界とつながる	畠山澄子				
水					RSL-ローカル (地域共生)	加賀崎勝弘		
木							大学生の学び・ 社会で学ぶこと	中川英樹
金			RSLゼミナール	中沢聖史	大学生の学び・ 社会で学ぶこと	福原充		
土					RSL-ローカル陸前高田			田北康成

— 春学期RSL実践系科目の履修登録について —

【対象】 全学部2年次生～4年次生

【登録方法】 「RSL-ローカル(陸前高田)」〈その他登録〉

「RSL-ローカル(地域共生)」〈抽選登録〉

【履修にあたっての注意事項】

- ・具体的な登録方法、登録スケジュールと授業内容や費用、履修にあたっての注意事項については、各科目の「シラバス」およびRSLセンターホームページで公開している「履修の手引き」を参照すること。
- ・事前・事後学習および学外活動(フィールドワーク)は全日程に参加しなければならない。
- ・履修登録後の履修中止は認められない。やむを得ない事情で活動ができない場合は、RSLセンターの指示に従い、所定の手続き(履修辞退の扱い)が必要である。なお、辞退した場合には成績が不合格となる。また参加費等キャンセル料が発生する場合がある。

【事前説明会】

- ・履修を希望する場合は事前説明会(3/26(木)「RSL-ローカル(陸前高田)」11:00~12:00、「RSL-ローカル(地域共生)」14:00~15:00オンライン開催)に必ず参加すること。説明会のURL等詳細は、立教時間(3月上旬公開予定)、RIKKYO PORTALメール等で確認すること。

秋
学期

RSL講義系科目紹介

SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門

気候変動、ジェンダーの不平等、貧困と格差—私たちが直面する地球規模の課題をSDGsというレンズを通して見つめます。この授業では、企業の社会貢献部門の担当者や、国際協力NGOのスタッフ、地方創生に取り組むNPOの職員など、課題解決の最前線で活躍するゲストスピーカーを迎え、SDGsと現代社会の課題を多角的に考察します。

金・2
(池袋)

中沢 聖史 先生

カーボンニュートラル人材育成講座

近年、極端な熱波、干ばつ、熱帯低気圧の強大化、豪雨などの異常気象が、世界中の人々の生活に深刻な被害をもたらし、生態系にも大きな影響を与えています。この授業では、地球環境の現状をファクトに基づき理解した上で、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組み（カーボンニュートラル）について深く学び、実際に企業や組織においてカーボンニュートラルを実現するための施策を提案・実行できる人材を育成することを目標とします。

金・2
(新座)
(池袋)

河村 賢治 先生 (新座)
村上 千里 先生 (池袋)

対話を学ぶ

サービスラーニングによる学びで重視される要素に「対話」があります。対話は、自己との対話(省察)、現場の人々との対話など、サービスラーニングの基本ともいえる重要なキーワードです。この授業では、平和構築をテーマとして、「対話が大切である」という前提を多角的に考察し、なぜ平和構築において対話というツールが重視されるのかを学びます。

火・2
(新座)

中沢 聖史 先生

シティズンシップを考える

現代社会においては、価値の多元性と称されるように、思想信条、宗教、人種、民族、文化、性別、国籍等の異なる様々な人々が暮らしています。人々が、民主政治の担い手である市民として、意見の相違を乗り越え、相互の人種を尊重しあえる社会を形成していくにはどうすればよいのかについて共に考え、学びます。

水・3
(池袋)

新田 英理子先生

秋
学期

RSL実践系科目紹介

RSL-コミュニティ(埼玉)



学外
活動

10月中旬～12月中旬に埼玉県内各所の「アスポート学習教室」で学習支援活動を行います。

1 貧困を
なくそう



4 質の高い教育を
みんなに



みえない「貧困」の意味を問う

生活困窮世帯に暮らす中学生を対象とした埼玉県内の学習支援事業に参加し、活動を通じて生活保護制度の運用実態に触れるとともに、みえづらくなった貧困と格差、社会的包摂を巡る諸問題についての理解を深めます。

金・5
(池袋)

田中 聡一郎 先生

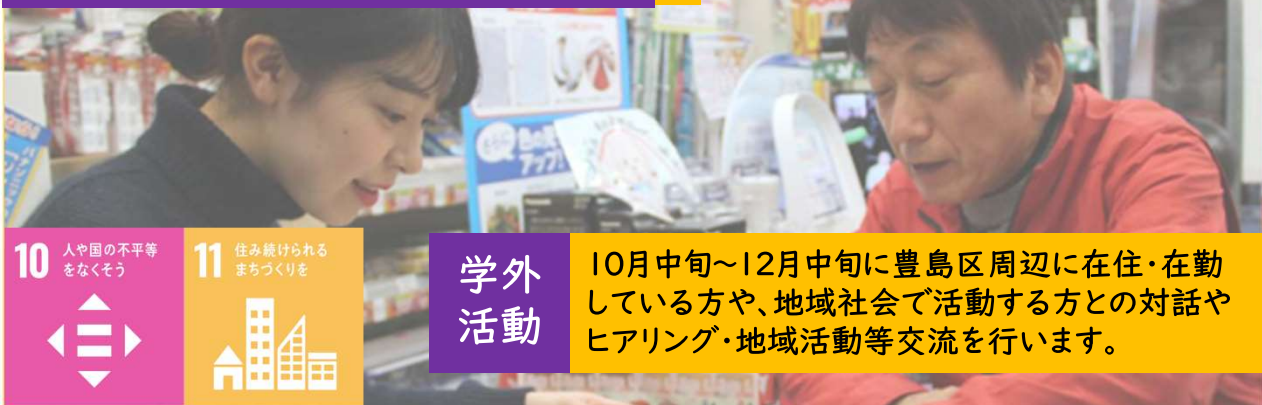
事前
学習

9月下旬～10月中旬
の期間で4回(予定)

事後
学習

12月中旬～1月中旬
の期間で4回(予定)

RSL-コミュニティ(池袋)



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



学外活動

10月中旬～12月中旬に豊島区周辺に在住・在勤している方や、地域社会で活動する方との対話やヒアリング・地域活動等交流を行います。

多文化共生の視点から池袋地域における相互連帯のあり方を考える
外国籍住民も増え続けるなど、急速にグローバル化が進み変貌を
遂げる豊島区・池袋地域をフィールドとして、「多文化共生と地域連
帯」というテーマに取り組みます。

金・3
(池袋)

福原 充 先生

事前
学習

9月下旬～10月中旬
の期間で4回(予定)

事後
学習

10月中旬～12月中旬
の期間で4回(予定)

RSL-ローカル(南魚沼)



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



学外活動

2027/2/5(金)～2/8(月)に新潟県南魚沼市で宿泊型フィールド活動を実施します。

農山村地域での交流から考える自然との共生と持続可能なまちづくり
農山村地域での生活体験を通して、過疎・高齢化地域の現実や
「豊かさ」の意味と向き合い、地域に住む方たちと共に地域活性や
自然との共生のあり方を考えます。

集中
(池袋)

高野 孝子 先生

事前
学習

11月28日(土)
13:30～17:30

事後
学習

2027年2月24日(水)
13:00～16:00

RSL-グローバルA



学外
活動

2027/2/9(火)~2/10(水)、
12(金)~14日(日)に東京都江戸川区荒川
周辺でフィールドワークを実施します。

実践SDGs—河川/海洋ごみ問題の現場から学ぶ社会課題—

世界的に注目される海洋ごみ問題がその他の社会課題と相互につながっていることを、講義や東京都江戸川区荒川河川敷でのフィールドワークを通じて認識し、課題の構造やその解決に向けた視点を養います。

火・3 今村 和志 先生
(池袋)

事前
学習 12/1(火)、12/8(火)、
12/15(火)3限

事後
学習 2027/2/16(火)、
2/17(水)3限

RSL-グローバル(フィリピン)



学外
活動

2027年2月上旬~中旬に
フィリピンのアジア・トリニティ大学を拠点に
周辺地域での支援活動を行います。

アジア地域の大学連携による活動で国際的な課題と向き合う

フィリピンのケソン市にあるアジア・トリニティ大学が展開するサービスラーニングプログラムに参加します。活動先のコミュニティで深刻化する社会格差について、国内外の学生がチームとなり、地域に寄り添う具体的な手法を国際的な視点で検討します。

集中 中沢 聖史 先生
(池袋)

事前
学習 9月26日(土)、
12月5日(土)14:00~17:00

事後
学習 3月6日(土)
14:00~17:00

秋学期										
種別	1時限 (8:50~10:30)		2時限 (10:45~12:25)		3時限 (13:25~15:05)		4時限 (15:20~17:00)		5時限 (17:50~18:50)	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者
月										
火			対話を学ぶ	中沢聖史	RSL-グローバルA	今村和志				
水					シティズンシップを考える	新田英理子				
木										
金			SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	中沢聖史	RSL-コミュニティ(池袋)	福原充			RSL-コミュニティ(埼玉)	田中総一郎
		※1 カーボンニュートラル人材育成講座	村上千里 河村賢治							
土					RSL-グローバル(フィリピン)		中沢聖史			
					RSL-ローカル(南魚沼)		高野孝子			

※1:池袋キャンパス、新座キャンパスで対面授業を行い、両教室をオンラインでつなぐ遠隔授業の形態で開講する。

— 秋学期RSL実践系科目の履修登録について —

【対象】 全学部学生

【登録方法】 「RSL-コミュニティ(池袋)」「RSL-コミュニティ(埼玉)」「RSL-グローバルA」「RSL-グローバル(フィリピン)」〈抽選登録〉
「RSL-ローカル(南魚沼)」のみ〈その他登録〉

【履修にあたっての注意事項】

- ・具体的な登録方法、登録スケジュールと費用等履修にあたっての注意事項については、各科目の「シラバス」および8月上旬RSLで公開予定の「履修の手引き」を参照すること。
 - ・事前・事後学習および学外活動(フィールドワーク)は全日程に参加しなければならない。
 - ・履修登録後の履修中止は認められない。やむを得ない事情で活動ができない場合は、RSLセンターの指示に従い、所定の手続き(履修辞退の扱い)が必要である。
- なお、辞退した場合には成績が不合格となる。また、参加費等キャンセル料が発生する場合があります。

【事前説明会】

- ・履修を希望する場合は事前説明会に必ず参加すること。説明会は7月上旬(昼休み)と8月下旬を予定している。
- 詳細は立教時間(6月上旬公開予定)、RIKKYO PORTALメール等で確認すること。